土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川　東川　砂防事業に伴う設計業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.4	**調査位置**	広島県竹原市福田町　地内			**北緯**	34° 20′ 42.1032″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2023年　7月 19日 ～ 2023年　7月 21日	**東経**	132° 57′ 30.5965″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 38.61m	**角度**	180°　上下　90°　0°　0°	**方位**	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	**地盤勾配**	水平0°　鉛直 90°　30°
総削孔長	4.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機　DO-C	**エンジン**	ヤンマー　NFD-12	**ポンプ** 東邦地下工機　BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	38.46	0.15		砂礫		淡褐			新生代第四紀	礫分はφ10mm以下。砂分は粗中砂。	
	38.01	0.60		シルト混じり砂		褐				表土に相当する（強風化土の可能性あり）。砂分は細中砂主体。微量の植物片を混入する。	
1	37.61	1.00		強風化花崗岩		褐灰				短い土棒状コアを呈す。固結度はかなり弱く、指圧で崩れる。【DM級岩盤、締まった砂質土に相当する】	
2				風化花崗岩		淡褐灰			中生代白亜紀	弱く固結した岩片状コア主体。岩芯風化によりかなり軟化している。強い指圧で大まかに崩れ、ハンマーの軽打で潰れるように砕ける。割れ目は痕跡化して認識しづらい。【DH級岩盤、軟岩Iに相当する】	
3	35.91	2.70		花崗岩		淡褐白				固結した短柱状コア主体。岩片の硬さは少し増しており、指圧で崩すのは困難～不可能となる。割れ目は低角度のものが主体をなす。GL-3.5mより風化程度がさらに弱まり、円形コア形状が明瞭になる。岩片は中硬質である。【CL級岩盤、軟岩Iに相当する】	
4	34.61	4.00									
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
75	1.05	21	29		50/200	200	
	1.25						
115	2.00	30	20/30		50/130	130	
	2.13						
500	3.00	50/30			50/30	30	
	3.03						
750	4.00	50/20			50/20	20	
	4.02						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				7/20